

淡路市都市計画マスタープラン 第1回地域懇談会意見のまとめ

第1回地域懇談会の概要

【日時・会場】

- 津名地域：令和7年10月19日（日） 10:00～12:00 淡路市役所
- 岩屋・東浦地域：令和7年10月26日（日） 10:00～12:00 岩屋事務所
- 北淡・一宮地域：令和7年10月26日（日） 14:00～16:00 北淡事務所

【参加者数】

- 津名地域：14名
- 岩屋・東浦地域：12名
- 北淡・一宮地域：11名

【ワークショップ（意見交換）のテーマ】

- テーマ① あなたを感じる近年のまちの変化
- テーマ② 今後も守っていくべきまちの資源
- テーマ③ 今後、対応が必要なまちづくりの課題

【全地区共通のご意見】

全地区に共通して多く出されたご意見は、「急激なまちの変化に対する戸惑い」と「生活の安心を取り戻したい」というものでした。

観光関連施設や移住者の増加、外国人観光客や民泊の増加による交通量の増加や渋滞の多発、マナー問題、静けさの喪失など、各地区で共通して「市民の暮らしの環境が落ち着かない」という声が多く出されました。

特に多かったのは交通に関する課題で、

- ・車がないと移動できない
- ・バスが少ない、運行時間が合わない
- ・高齢者の移動手段が不安
- ・休日の渋滞が生活に影響する

といった意見が、すべての地区で出されました。

また、人口減少・少子高齢化、空き家・空き地の増加、農地や漁業の担い手不足といった問題は、淡路市全体の未来に直結する課題として多くの方から出されました。

一方で、淡路市特有の自然景観や祭り・文化、地域のつながり、海や山の豊かな自然環境など、「淡路らしさ」と言える資源を大切にしたいという思いも全地区で共有されていました。住民のあたたかさや地域活動の継承を誇りに感じている声も多く、淡路市が持つ魅力として強い愛着を持たれていることが伺えました。

【津名地区のご意見】

津名地区では、生活の利便性低下や交通の不便さが特に多く指摘されました。バスの不便さなど、「移動のしづらさ」が地域の暮らしを考える際の大きな課題の一つと考えられています。また、農業・漁業の担い手不足や空き家、耕作放棄地の増加など、地域の暮らしと産業の持続性確保に関する懸念も示されました。

一方で、海や山、棚田などの豊かな自然景観、歴史ある寺社、雨や雪が少ない気候、人のつながりなど、守るべき資源に関する意見は多く、地域資源への愛着が強く現れていました。とくに「藻場を守る」「海をきれいに」といった具体的な環境保全への声が多く、自然と暮らす地域としての意識の高さが見られます。

また、商業施設の減少や買い物難民の問題への対応、高齢者の免許返納後の移動手段の確保など、「日常生活の安心」を求める声が多く、旧市街地への人口誘導や再開発、ゾーニングの再構築なども求められています。

【岩屋・東浦地区のご意見】

岩屋・東浦地区では、移住者や新規開業が増える一方で、閉店や住宅不足、土地価格の上昇などもあり急速な変化に対する戸惑いが多く示されました。外国人を含む観光客や民泊施設の急増による生活環境の変化、観光客マナーの問題など、観光地としての負荷への懸念が強い点も特徴的です。また、道路渋滞などの交通問題の指摘もあり、高齢者や学生の移動手段確保のほか自動運転バスなどの新技術導入への期待も見られました。

生活に身近な環境や地域コミュニティに関しては、人口減少や高齢化などの問題のほか、移住者との交流促進など地域における繋がりの再生が課題として挙げられました。さらに、海岸や砂浜、歴史的景観などの資源保全を重視する声が多く、太陽光パネルによる景観への影響を懸念する意見もありました。

まちづくりに関しては、行政から説明不足との指摘があるものの、住民の地域主体のまちづくりへの意識は高く、公民連携や持続可能とする住民自治を求める意見も聞かれました。

【北淡・一宮地区のご意見】

北淡・一宮地区では、西海岸の観光開発や観光客増加が地域における大きな変化として挙げられており、観光施設や民泊施設の増加への懸念など、観光と生活のバランスに対する不安の声が聞かれました。また、空き家・空き地や耕作放棄地の増加が問題視されており、地域資源の管理不足が問題と認識されています。自然資源や海岸線、砂浜、棚田、歴史的資源などを守るべきという意見が多く、景観の観点から太陽光パネルの影響を懸念する声もあります。

生活面では、買い物や移動の不便さや高齢者の生活不安、道路の安全性など日常生活に直結する課題が多く示されました。また、観光と暮らしの調和や道路などの都市基盤整備なども求められています。

これまでのまちづくりに関して行政からの説明が不足しているとの指摘もあり、都市計画区域の扱いを含め住民への説明が必要であるという声も聞かれました。

淡路市都市計画マスタープラン 第1回地域懇談会意見 津名地区

班	テーマ1：あなたが感じる近年のまちの変化	テーマ2：今後も守っていきべきまちの資源	テーマ3：今後、対応が必要なまちづくりの課題
A 班	<p>○交通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京、大阪へのアクセスが改善されていない。 ・バス、タクシーが不便 ・バス便が少ない(生穂、佐野のまちなかに高速バス停がなくなった) ・高速道路が上手く活用されていない。いつまで、津名港、東浦ターミナルが中心なのか。 ・少子高齢化に対応する交通の便がない <p>○農業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田主(水利組合)の維持が困難 ・農業の担い手が不足 <p>○店</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お店が減った ・魚屋、肉屋がなくなった <p>○空き地・空き家</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き地、空き家が増えた。管理が不十分 <p>○観光</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光施設が増えた ・外国人観光客が多い ・サイクリングで来る人が多くなった ・連休に人が増えた ・津名は観光客が増えてない ・ポートターミナルがきれいになった <p>○コミュニティ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供が減った ・志筑の子供は減っていない ・老人よ元気になる 	<p>○交通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路整備、住民本位のバスの運行時間が増えてもらえたら(灘町) <p>○コミュニティ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の祭り、だんじりなどの地域のイベント ・町内会活動 <p>○生物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チドリ、ハクセンシオマネキなどの絶滅危惧種の生き物 <p>○太陽光・山・みどり・海</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソーラーパネルは×、斜面にダメ、山を削るな! ・園芸・農業の拡張、海岸の汚染問題 ・農業や米づくりの仕組み、池や川、水路 ・きれいな海、砂浜 ・景色、ミドリ ・雑魚が育つ藻場を守る(つくる) <p>○海</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近くに海がある(小さな神戸、横浜) ・西海岸の景色、東海岸の景色 <p>○利便性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資源にこだわらない ・しずかホールをもっと活用する ・ちょうど便利なまち ・フランチャイズも大事 	<p>○交通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路の拡幅 ・サイクリングロードの整備(国道・県道) ・自動運転の船、ドローン自動運転 ・バス自動運転、ロボタクシー特区 ・津名一宮→バスの中心、神戸空港、関空へ空飛ぶタクシー ・高速の活用、津名一宮の再開発 <p>○コミュニティ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんな出て来てください ・伝承・教育→まちの資源・課題を若い人に伝える <p>○利便性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話の電波が届かないエリアをなくす ・買い物難民の解消 ・免許を返した後高齢者の足をどうするか? 買い物についても・・・ <p>○空き地・空き家</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧市街地への人口誘導、建替の促進 ・空き家活用に公園、とくに公共性のある、生活道路 ・まちづくりにデザインを ・住民誘導の区画整理 ・空き地、空き家に対する行政からの声かけ ・古いゾーニングを解消する ・国道沿い再開発
B 班	<p>○交通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通の便が悪くなった ・土日祝の交通量が多い <p>○自然・緑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの公園がお金を取られる公園になった <p>○産業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業従事者が減少した ・農業従事者が減少し、農地がなくなるのでは <p>○観光</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島外から淡路島に行ったと聞くことが多くなった ・グランピング施設など宿泊施設を多く見かけるようになった ・民泊や島外の事業者が増え、地域になじみのない観光客の増加や交通量の増加など問題が増えてきた ・観光客向けの店舗が増えた ・万博のパソナパビリオンはどこに来るのか、必要なのか <p>○暮らし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このままでは人口減少により集落が消滅するのでは ・街が静かになった ・防犯カメラを設置して欲しい 	<p>○自然・緑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・起伏に富んだ地形 ・自然景観(山・海など)や農村景観(棚田・田畑など)が美しい <p>○地域・人のつながり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人の温かさ ・ご近所づきあい ・公民館や町内会での地域活動 ・祭、花火大会、だんじりなどのイベント <p>○農水産物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新鮮な農水産物(野菜・果物・魚など) <p>○文化財</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寺(常隆寺など) ・神社(伊弉諾神宮など) ・歴史的史跡(五斗長垣内遺跡など) <p>○気候</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨や雪が少ない気候 	<p>○交通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車がないと移動できない状況となっているため、車を持たない人の移動手段の確保が必要 <p>○自然・緑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街路樹など緑の維持管理 <p>○土地利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耕作放棄地の増加 ・空き家、空き地の増加 ・要となる中心地がない <p>○暮らし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地産地消で経済がまわるまちに ・高齢者の住みよいまちに ・住民参加の実現

淡路市都市計画マスタープラン 第1回地域懇談会意見 岩屋・東浦地区

班	テーマ1：あなたが感じる近年のまちの変化	テーマ2：今後も守っていきべきまちの資源	テーマ3：今後、対応が必要なまちづくりの課題
A 班	<ul style="list-style-type: none"> ○移住 <ul style="list-style-type: none"> ・子供会の復活、子供が数十人遊ぶ公園 ・人口の増加（久留麻）と急減（仮尾） ・パソナの単身者集合住宅の乱立 ・コロナ後の新規開店、移住の方々にも成否が出ている？ ・移住者の増加（国勢調査で感じた） ○アクティビティ <ul style="list-style-type: none"> ・ロードバイク客増加 ○観光 <ul style="list-style-type: none"> ・民泊施設の増加 ・レンタカーをよく見かける ・バスでの外国人観光客の増加 ・外国人を見かけることが増えた ・外人増（ウクライナ他） ・観光客向けのお店が増えた ・観光客増 ○コミュニティ <ul style="list-style-type: none"> ・お年寄りが多いはずだが街中であまり見かけない ・高齢者の一人暮らし増加 ・島外からの不動産屋増加 ・子供がノビノビ遊べる場所減少 ○空き地・空き家 <ul style="list-style-type: none"> ・空き家増加と住宅不足 ・空き家増加 ・物流、国からの食料品が多い ・耕作放棄地の増加 ・あき農地 ・獣害、農地を荒らされる、住宅地の近く ・土地の値段上昇 ○店 <ul style="list-style-type: none"> ・新規開業店がすぐにしまる ・地元向け（住居向け）食堂が出来る ・岩屋商店閉店続く ・新規進出の一方で閉店売却地をよく見かける 	<ul style="list-style-type: none"> ○医療・教育・福祉→定住 <ul style="list-style-type: none"> ・学校を廃校にしない ・医療福祉の重視 ○交通・すみわけ ○防災 ○移住 <ul style="list-style-type: none"> ・淡路島民が暮らしやすい「物価」 ○アクティビティ <ul style="list-style-type: none"> ・サイクリスト ・釣りが出来る漁港 ○漁業・農業 ○観光 <ul style="list-style-type: none"> ・交通量 ・観光客 ・マナー（ゴミ・ルール） ○景観 <ul style="list-style-type: none"> ・祭りなどを現代風に残す ・祭 ・大きい公園 ・久留麻神社 ・橋が見える景観 ・砂浜 ・歴史的なもの、石屋神社 ・旧岩屋のまちなみ（再建築不可） ・歴史景観 ・自然 ○コミュニティ <ul style="list-style-type: none"> ・子供 ・りんぼのシステム ○店 <ul style="list-style-type: none"> ・商店街 ・ふれあい商品券 ○漁業・農業 <ul style="list-style-type: none"> ・農林水産業 ・海の幸 ・農・漁業 ・農作物 ・漁業 	<ul style="list-style-type: none"> ○医療・教育・福祉→定住 <ul style="list-style-type: none"> ・教育、福祉中心のまちづくり ・旧町ごとのきめこまかな街づくり ○交通・すみわけ <ul style="list-style-type: none"> ・教育→通学 ・交通関係 ・自動運転の小型バス、点と点を線・エリアにする ・自動運転 ・歩きやすい道、自転車にやさしい道、お年寄りや子供にやさしい道 ・防災意識行動、平地が少ない、アナウンスが聞き取れない ・学校で遊ぶ ・町内会長高齢化 ○防災 ○移住 <ul style="list-style-type: none"> ・28号線しかない ・高速代高い ○アクティビティ <ul style="list-style-type: none"> ・ゴルフ場 ○漁業・農業 <ul style="list-style-type: none"> ・第一次産業と宿泊飲食業との関連付け ○景観 <ul style="list-style-type: none"> ・景観の保持、緑と花のまち、道づくり ・自然の農を生活に活かすまちづくり ・水道 ・車社会の町づくり ・9町それぞれに魅力 ・若者不足 ・駐車場 ・空き地、空き家 ・飲食店 ・道路（自転車との住み分け）、基幹道路が海沿い ・橋の値段（島民割） ・耕作放棄地 ・空き家 ・医療機関（高度）、淡路医療センターの充実 ・神戸へのルート（明石、須磨） ○コミュニティ <ul style="list-style-type: none"> ・屋内での子供が遊べる施設が少ない ○空き地・空き家 <ul style="list-style-type: none"> ・跡継ぎがない農地等、住宅地として活用できない、農振地 ・土地がない東浦 ○店 <ul style="list-style-type: none"> ・チェーン店が少ない、子育て難

<p>B 班</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○インフラ <ul style="list-style-type: none"> ・車が大きくなり狭い道路を少しでも改善すべき ・道の駅あわじや淡路 IC など交通の拠点に利用客が多い ・集合住宅が増えてきた（東浦） ・ルールを無視したゴミ出しが増えた ○生活環境 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々の収入が高いのか低いのか不明 ・岩屋商店街がさみしい ・新しい店（カフェなど）もある ・公共施設の老朽化（市営住宅） ・昔からの店が閉店し観光客向けの新しい店が出来る ○文化 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化 ・人口減少で学校、保育所の統廃合 ・少子化、高齢化 ○観光 <ul style="list-style-type: none"> ・休日の道路の混雑 ・休日に車の増加（観光客） ・他府県ナンバーの車が増えた ・外国人の居住者が増えた ・外国人観光客が増えた ・民泊の増加 ○自然 <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光パネルが増えた ・自然が減ってきた 	<ul style="list-style-type: none"> ○文化 <ul style="list-style-type: none"> ・町の祭り ・市民主体の取組 ・住民主体のバス（100 円→150 円）「地域で取り組んだらできる」ということが大事 ・昔ながらの人づきあい ○観光 <ul style="list-style-type: none"> ・人気の観光地域としてのポジション ・寺、神社（一定規模を残し統廃合） ○自然 <ul style="list-style-type: none"> ・海岸線、特に砂浜を守りたい ・緑の量、森、山林 ・緑、海岸、田園風景 ・景観、きれいな環境（神戸からヘリコプター） ・季節を感じる風景 ・一次産業、漁業と農業 ・景観を一定守る（太陽光の規制など） ○生活基盤 <ul style="list-style-type: none"> ・住民が生活で使える店（日常の価格の飲食店） 	<ul style="list-style-type: none"> ○交通インフラ <ul style="list-style-type: none"> ・主要市街地地域を直線でむすぶ道路 ・高齢者、特に自動車免許返納後の移動手段 ・移動手段の充実化 ・山間部の草木の整備 ・渋滞対策 ・移動手段の確保 ・渋滞を減らす対策（インフラ見直し or 公共交通） ・インフラ環境の整備 ・水道代の軽減 ○住民自治 <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少をいかに止める ・人口減少と平日、閑散期の観光業界、店 ・公民連携の手法、行政主導では活路は見出せない、まずは住民自身の活性化、パブリックマインドを拡げる（何でも行政ではダメ！！） ・自主防の強化（自分ごと） ・避難路整備 ・社会参加と生きがいづくり ・持続可能とする住民自治 ○生活基盤 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の拠点づくり（ゆるやかなつながりづくり）、移住者と集える拠点、若年、子育て等生活者の交流、絆づくり ・岩屋地区であれば図書館の充実、情報の常時安定供給、つながりづくりの場→地域拠点の場所につくれば良い ・旧岩屋保育所跡地活用、拠点整備をする必要がある ・情報インフラ ・学生の住みやすさ、単身者(移動、住むところ、学校、お店) ・若者に魅力ある市 ・福祉施策の重要 ○産業 <ul style="list-style-type: none"> ・さらなる企業誘致 ○その他 <ul style="list-style-type: none"> ・そもそも淡路島全体でまちづくりを考える必要があるのではないか
------------	---	--	--

淡路市都市計画マスタープラン 第1回地域懇談会意見 北淡・一宮地区

班	テーマ1：あなたが感じる近年のまちの変化	テーマ2：今後も守っていきべきまちの資源	テーマ3：今後、対応が必要なまちづくりの課題
A 班	<ul style="list-style-type: none"> ○観光・外国人 <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊施設が増えた ・外国人が増えた（+移住者） ・音の大きなバイク増加 ・観光客の車が増えた ・観光客が増えた ・都会の人、外国の人を多く見かける ○空き地、空き家、田んぼ <ul style="list-style-type: none"> ・田んぼが荒れている ・空き家が増えた ・空き家が増えた ・空き地が多くなった ○コミュニティ <ul style="list-style-type: none"> ・近くに住んでいる人はお年寄りばかり ・高齢者が増えた ・百才体操でお茶会やおしゃべりして楽しい ・公園に遊具が減った ・祭り事が少ない ・シルバーで草引きや洗い物の仕事に行っている人が多々ある ・四人の内一番頼りにしていた子供が老後のことを思ったら今のうちにと垂水でマンションの購入 ・子供が少なくなった ○自然・景観 <ul style="list-style-type: none"> ・海岸のゴミが増えた ・砂浜が小さくなっている ・暑くなった ○賑わい <ul style="list-style-type: none"> ・歩行者が少ない ・賑やかなエリア（新しい）と閑散とした（昔からの） ・レストラン（洋食店）が増えた ○交通・道路 <ul style="list-style-type: none"> ・車が増えた ・他の地域に比べてインフラ、道路、家が新しい ・車が多くて怖いです ・通勤する人が増えた 	<ul style="list-style-type: none"> ○空き地、空き家、田んぼ <ul style="list-style-type: none"> ・田畑 ○農林漁業 <ul style="list-style-type: none"> ・農林水産業 ・漁業、農作資源 ○コミュニティ <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少をなくしたい ・コミュニケーション、助け合い、協助 ・子供、子育て環境、教育、学校、遊ぶところ ・お祭り ・地域の集まり ・人件費などがかさむので仕方がないと思う ○自然・景観 <ul style="list-style-type: none"> ・自然 ・自然・海岸線、砂浜 ・歴史、景観保全 ○交通・道路 <ul style="list-style-type: none"> ・移動手段 	<ul style="list-style-type: none"> ○観光・外国人 <ul style="list-style-type: none"> ・観光客のゴミ問題 ・多言語の対応 ・色々な国の外国人の若者を見かける ○財政 <ul style="list-style-type: none"> ・行政の力が必要 ・補助金共有 ○空き地、空き家、田んぼ <ul style="list-style-type: none"> ・空き家、空き地 ・空き家対策に力を入れて欲しい ○コミュニティ <ul style="list-style-type: none"> ・老人に対していたれりつくせりの時代です ・子育て環境、教育、学校、福祉、医療、遊び、web 島外から ○自然・景観 <ul style="list-style-type: none"> ・みどり、花 ○交通・道路 <ul style="list-style-type: none"> ・道路整備 ・車道以外の拡幅 ・交通の整備、橋 ・車の免許をはなした時の買い物が心配です ・市の施設維持 ・移動手段、自動運転小型バス、歩きやすい、自転車に優しい、老人に優しい道

<p>B 班</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○観光・資源 <ul style="list-style-type: none"> ・西海岸の観光施設が増えた ・民泊営業許可はおかしい！ ○子育て <ul style="list-style-type: none"> ・淡路島がこのまま変化しすぎるとどう感じるのかについて、子供達の意見も必要 ・子供達が成長し未来を見つめた時、何かがなければ(つくらないと)いけないのか ○教育 <ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化、留学生増加（ミャンマー、ベトナム、ネパール、バングラディシュなど） ○生活 <ul style="list-style-type: none"> ・変化が見られない ○交通 <ul style="list-style-type: none"> ・島外ナンバーの車が多く、スピードを出している。家の前、直線道路なのでとても危険 ○情報共有・説明 <ul style="list-style-type: none"> ・淡路市は観光事業者や観光客のことばかりで、住民のことを考えていないのではないか ・20年間行政からの説明がなかった、住民に説明が必要（なぜ一宮が都市計画区域に入っていないのかなど不明） 	<ul style="list-style-type: none"> ○伝統・自然 <ul style="list-style-type: none"> ・明神岬、大浜海岸 ・資源、神社・仏閣、イワクラ、滝、浜、農地（産業）、祭り、特産物 ・美しい夕日を大切にしたい ・棚田の風景 ○観光・資源 <ul style="list-style-type: none"> ・ニジゲンノモリ、HELLO KITTY ・北淡には古い神社がけっこうある、歴史も深くあまり知られていない ・花さじき、神社、幸せのパンケーキ 	<ul style="list-style-type: none"> ○交通インフラ ○伝統・自然 <ul style="list-style-type: none"> ・観光資源を活かす ・農業 ・再エネ（太陽光パネルなど）と景観の両立 ○教育 <ul style="list-style-type: none"> ・教育・進学環境が限られている ○生活 <ul style="list-style-type: none"> ・観光と暮らしの共存 ・ゴミも多い、施設のお客のゴミ（道）があるのは施設が掃除をしないからです ・Wi-Fi 問題 ・仕事や雇用の機会が少ない ・老人の生活心配、車、食事 ○買い物 <ul style="list-style-type: none"> ・買い物や生活の利便性が低い ・店少ない ・高速道路の割引が必要、高すぎる ・交通の便が悪すぎる ・道路整備がなされていない ○情報共有・説明 <ul style="list-style-type: none"> ・家（つぶすのに金がいる） ・市と市民との距離 ・住んでいない空き家を利用するのに周囲との話が必要 ・とにかく淡路市サイドの説明不足が不安と不満を募る ・我が家の家の真上に大きなプールが出来ます、下に水を流すようだ ・施設は大なり小なり必ず住民に説明すべき
------------	---	---	--

淡路市都市計画マスタープラン 第2回地域懇談会意見のまとめ

第1回地域懇談会の概要

【日時・会場】

- 津名地域：令和7年12月7日（日） 10:00～11:30 淡路市役所
- 岩屋・東浦地域：令和7年12月14日（日） 10:00～11:30 東浦事務所
- 北淡・一宮地域：令和7年12月14日（日） 14:00～15:30 一宮事務所

【参加者数】

- 津名地域：14名
- 岩屋・東浦地域：12名
- 北淡・一宮地域：6名

【ワークショップ（意見交換）のテーマ】

- テーマ① 目指すべきまちの将来像
- テーマ② 将来像を実現するための取組

【全地区共通のご意見】

3地区に共通して、淡路市らしい自然や景観を守りながら、将来にわたって安心して暮らし続けられるまちづくりを進めることが重要であるという意見が多く出されました。

山や海の自然、農地といった地域資源を保全し、農業や漁業などの一次産業を持続可能な形で継承していくことが、重要であると認識されています。

また、子どもから高齢者まで、すべての世代が安心して生活できるよう、医療・教育・福祉の充実や、防災・減災対策の強化が必要であるとの意見が共通していました。

交通面では、公共交通の利便性向上や、高齢者や子育て世代が移動しやすい交通手段、道路環境の整備が重要な課題として挙げられています。

さらに、地域コミュニティの維持・活性化や住民主体のまちづくりの推進、行政と地域が連携した取組の必要性が指摘されました。

居住と観光については、地域の暮らしを守りながら調和を図り、持続的に進めべきであるという考えられています。

【津名地区のご意見】

津名地区では、自然、暮らし、産業が調和し、人と人とのつながりを大切にするまちを目指す意見が多く出されました。里山や農地、ため池などの地域資源を守りながら、農業や漁業といった一次産業を基盤とし、地産地消の推進や体験型の取組、スマート農業など新たな技術や仕組みに挑戦していくことが求められています。交通面では、公共交通の充実や自動運転技術の導入により、高齢者や子どもが安心して移動できる環境づくりが重要であるとされています。地域コミュニティについては、地域の祭りや神社を中心としたつながりの継承や、小さな拠点づくり、住民参加による自治運営を重視する意見が多く見られました。さらに、子育てや教育環境の充実、空き家の活用、防災と日常生活を結びつけた取組を進めることで、誰もが役割を持ち、安心して暮らし続けられる津名らしいまちづくりが期待されています。

【岩屋・東浦地区のご意見】

岩屋・東浦地区では、居住を重視した将来像が意識されており、特に子育て世帯や移住者にとって魅力ある居住環境の形成が重要であるとされています。

淡路島の玄関口に位置する地域として、景観や歴史、昔ながらのまちなみを大切にしながら、商業や観光の活性化を図るべきとの意見が多く出されました。交通面では、公共交通の利便性向上や多様な移動手段の確保に加え、歩行者や高齢者、子どもが安全に移動できる道路整備が課題として挙げられています。また、空き家対策や住宅のリノベーション、教育環境の充実を通じて、若者や島外からの人材が定着し、人口減少の抑制につなげることが求められています。地域コミュニティについては、小学校区を単位とした活動の推進や住民自治の強化、行政と住民が意見交換できる場づくりが重要であり、暮らしの安心と経済活動が両立する持続可能なまちづくりが期待されています。

【北淡・一宮地区のご意見】

北淡・一宮地区では、地域コミュニティを基盤として、子どもから高齢者まで安心して暮らせるまちを目指す意見が多く出されました。

自然や歴史、棚田や海岸の景観などの地域資源を守り、一次産業を大切にしながら、暮らしと観光が調和したまちづくりを進める必要性が示されています。交通や防災の面では、道路や交通網の整備、災害に強いインフラの確保が重要であり、日常生活の利便性向上と安全性の確保が課題とされています。また、医療・教育・買い物環境の充実により、人口減少を抑制し、将来世代が再び戻ってこられる地域であることが望まれています。観光については、民泊のルール整備や地域合意の形成が不可欠であり、行政と住民が情報を共有し、話し合いを重ねながら進める主体的なまちづくりの重要性が指摘されています。

淡路市都市計画マスタープラン 第2回地域懇談会意見 津名地区

テーマ	テーマ1：目指すべきまちの将来像		テーマ2：将来像を実現するための取組	
班	A 班	B 班	A 班	B 班
意見	<p>○自然・一次産業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山保全 生物多様性保全 ・美しいまち 美しい自然 ・淡路に住むメリットにつながる自然・観光施設の活用 ・農地やため池が守られていて農業、特に米づくりがつづいているまち ・地元でとれた魚が食べられる街 ・耕作放棄地をまとめて機械化して自給率100%をめざす <p>○交通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通の便（島内の移動、都市への移動）が便利 ・自動運転のバスやカートがある <p>○コミュニティ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居住地への商業施設の集約 それにより高齢者、子供が安心して買い物にいけるまち ・まちを人が歩いている様子に ・若者、高齢者、外国人が共に安全に生活し続けることができる ・お店がいっぱいある ・子供がたくさんいるまち ・高齢者が引きこもりしない コミュニティのある移動しやすい道 ・老人も子供も外から来た人も安心して楽しく暮らせる町 ・いろいろな人が参加できる 地域の祭りやだんじりが守られているまち ・元気な高齢者がたくさんいるまち ・地域のつながりがある町 ・コミュニケーションを大切にする社会 ・人情 ふれあい あたたかさ <p>○防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害対策 地震 ツナミ 火災 ・すべての人に役割がある社会 <p>【将来像に盛り込むべきフレーズのまとめ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい仕組み作りにチャレンジ ・人が津名がまちづくり ・子供から高齢者までが元気なコミュニケーションやつながりを大切にするまち 	<p>○子育て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代を応援できる街 ・子供が遊べる街 ・子供が楽しく公園で遊んでいるまち ・たくさんのパパママが子育てしているまち ・教育強化のまち（偏差値の高い公立高校） 学習熱があるまち <p>○交通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路計画 公共交通 話し合い ・多くのバスがひんぱんにはしているまち <p>○コミュニティ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が集まっている話（井戸端会議）のできる場所がところどころにあるまち ・みんなが一緒に楽しく暮らせる町 ・地産地消を軸とし 漁協・農協・商工会・町内会・老人会・子供会等すべての団体の協力で ・市役所のはたす役割が大切 ・小さな拠点を大切に ・ご近所づきあい（挨拶とか） ・住民が参加するまちづくり 自治協議会 ・淡路島の人たちが集まってつくるまち ・古い神社を大切にしてお祭りを中心にお祭りが盛んな“まち” <p>○防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災 原点回帰 過去に学ぶ ・安心してらせる町（道路が整備されている） <p>○産業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一次産業が盛ん ・空家の改修 一時滞在がしやすい“まち” ・ドックランがあったら ・シェアエコノミー文化が浸透している 	<p>○社会の仕組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人化 近所の集まりまかせにしない ・法人化 農業対策 子育て ・チャレンジの仕組み（企業化、起業化） ・農漁業の担い手 若者を受入れる仕組み ・しごと（労働）のシェアリング 連携 兼業 ・一次産業のエンタメ化 <p>○新技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動運転 バス タクシー 船 ・DX・ITの活用 ドローンによる荷物の発送 駅までの中継地のどこかへ ・自動運転 バス・カートのトライアル <p>○みんなで協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花と緑を増やす取組制度 高齢者層、子供の活用制度、補助金 <p>○コミュニティ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民全員参加 全員加入の 町内会と町内会活動 安全・安心の為 ・子供たちの未来の為 旧五町にドームを作る その下に地価シェルターを ・高齢者が活躍できるコミュニティづくり 移動手段提供（補助金） 移動しやすい道 ・移動商業施設が集まる空地の活用 住民と観光客とは分けて考える <p>○まちの設計</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人が集える施設の集約と整備 バスターミナルや公園・広場の再考 ・旧市街地の区画整理 空地空家対策 ・人の暮らしが見える場・イベント ・しずかホールをもっと活用する ・津名高校にキャラをつける <p>○仮、実験 トライアル 体験×観光</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業のスマート農業科 担い手の受入 体験と観光を組み合わせる ・空家のコミュニティ施設への活用 ・高齢者運営の子供食堂 ・移住者の仮宿泊施設 ・就農者（体験）の仮宿泊施設 	<p>○子育て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学研のまち 教育レベルを上げる（市の行政で） ・いろいろな世代の子供が遊べる公園がたくさんある <p>○交通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路を広げる <p>○観光・情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の可視化をできるように ・イベントがどこであるか ・地元でノウハウを活かす ・自転車のモデルコース ・旧五町に地域おこし協力隊を設置 ・各町のPR→人を増やす 売り込み ・観光大使（淡路クイーン） ・今あるリソースの活用 神社・寺・しずかホール・カリヨン広場 ・淡路のいいところの再確認 ・移住を促進するための情報発信（子育て支援、教育環境、地域での生活の様子、イベント情報など） <p>○コミュニティ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・半官半民の意欲的な地産地消を増やす組織、組合、社団法人をつくる ・コミュニティの場をつくる ・自治協議会 市の事務局体制、経済的支援の確立 <p>○防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域単位での訓練とりくみ ・イベント×防災

淡路市都市計画マスタープラン 第2回地域懇談会意見 岩屋・東浦地区

テーマ	テーマ1：目指すべきまちの将来像		テーマ2：将来像を実現するための取組		
班	A班	B班	A班	B班	
意見	<ul style="list-style-type: none"> ○教育 <ul style="list-style-type: none"> ・子ども目線での満足度 ・生活に必要な医療、学校、交通などの維持 ・教育が大切 ○景観・自然 <ul style="list-style-type: none"> ・景観、歴史、伝統、昔ながらのまちなみの守られたまち ・豊かな自然を生かすまちづくり ・空き家、空き地対策 ・山と海を利用した街 ・自然を残す、耕作放棄地をなくし景観を良くする、ゴミのない草木がきれい ・パソナが残る（大企業の本社機能がある） ・活気のある街 ・長期的に生活を支える経済、地域間の関係の強化 ○住・移住 <ul style="list-style-type: none"> ・「住む」をテーマ ・特に子育て世帯 ・移住者重点地区 ・住民を外来者（移住者、観光客）を安全、安心に楽しめるまち ・住みたいと思う街 ・新規移住者がうっとりやすい家や補助、駐車場 ・産まれた時から老後まで暮らしたいと思う街 ○交通 <ul style="list-style-type: none"> ・バス、車以外の交通、移動手段のあるまち ・交通の便が良い街 ・バスのサブスク化 ・なるべく広くて整備された道路 ・交通、車、バイク、自転車が安心して通行できる様になる ・つえ、車椅子、シニアカー、ベビーカーが移動しやすい道 ○コミュニティ <ul style="list-style-type: none"> ・なかよし ・認め合う地域 ・小学校区ごとにまちづくりを進める、ただし全体（旧町）ごとの対策も必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○入り口 <ul style="list-style-type: none"> ・淡路島の玄関としての地域づくり（暗いと島全体に影響がある） ・ポートターミナル、玄関口としてふさわしいまちづくり、例えば商店の活性化 ○人 <ul style="list-style-type: none"> ・身近な人に自慢できる ・企業も人も誘致 ・人口減少のくい止め ・淡路出身の学生が戻ってくる ・東浦、転入者（移住者）とも「うまくやれる」まちづくり（住宅環境の形成） ・移住者の増える ○交通 <ul style="list-style-type: none"> ・橋での出入りがしやすいまち（市民） ○暮らし <ul style="list-style-type: none"> ・若者も高齢者も孤立しない地域づくり ・衣食住にかかわる店の参入しやすいまち ・市内外で移動がしやすいまち（島外含め） ・世代間交流できる地域づくり ・笑顔とおもいやりのある地域づくり ・行政に頼らない住民自治の地域づくり ○安全、安心 <ul style="list-style-type: none"> ・安心して暮らせる教育福祉 ・災害に強いまち ・暮らしていける（安心して）住み続けられる地域づくり ○自然 <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境の保全 ・農業の継続 ・自然環境と近未来都市の融合 ○産業 <ul style="list-style-type: none"> ・観光産業で住民生活を支える ・住民サービスのための儲かる市 ○新旧 <ul style="list-style-type: none"> ・古いまちなみを活かすまちづくり ・新しいもの、ことを昔からのもの、ことが融和する 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育 <ul style="list-style-type: none"> ・自然を生かす子ども教育 ・魅力のある教育（施設、コンテンツ）、保育、幼稚園、小中高、専門学校、大学 ・中学～の学校教育弱い ・町ぐるみ部活 ○景観・自然 <ul style="list-style-type: none"> ・住む所を増やす（宅地化） ・あり余る自然、道路沿いの木々？ ・地域の人が自然を楽しむまちづくり、例えば公園、散歩、登山道 ・景観、みどりを守り、増やす取組み、行政（条例、補助）、地域、コミュニティでの取組み活性化 ・ふれあい商品券の定期化 ・最大の投資は行政なので経済の視点を持って行う ○交通 <ul style="list-style-type: none"> ・町づくりの専門家を育てる、中小企業条例の活用など ・空き家対策（雑草、木、スズメバチ） ・空き家一斉解体 ・固定資産税上げない ○交通 <ul style="list-style-type: none"> ・自動運転、バス、カート（乗合タクシーのトライアル） ・無人バス、タクシー ・交通網整備 ・道路の整備以外の選択 ・橋の無料化 ・自動化 ○まちづくり・行政 <ul style="list-style-type: none"> ・ディスカッションの場をつくる（行政と） ・予算を作る ・選択と集中 ・目指す街を一言で共有する ・島外でうまくいっている所と比べる、コンサル会社 ・地域のコミュニティ活性化、集いの場の提供、生産物の交換や助け合い、まちづくり（そうじ、花） ○コミュニティ <ul style="list-style-type: none"> ・淡路島一斉掃除の回数を増やす（地域コミュニティ） ・地域の祭りをもっとアピールする（島内全体）、洲本花火、情報発信 ・小学校区ごとの市民の集まりに支援を行う、市の都合で行われない ・町内会、町のリーダー 	<ul style="list-style-type: none"> ○入り口 <ul style="list-style-type: none"> ・淡路島、国際空港構想を再び ・空地の活用→空地をポケットパーク（仮設店舗を設置できるような制度も？） ・商店街を歩きたくなるようなマップづくりや休憩場所の整備 ○人 <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援の充実 ・学校給食の無償化の継続 ・子育て世帯、新婚世帯が入ってきやすい補助金（出産→15年在中で一人目から100万円） ・幼保一貫、小中一貫教育として教育の魅力アップを ○交通 <ul style="list-style-type: none"> ・片側2車線の主幹道路の整備 ・主幹道路の景観、草刈り ・道路の補修 ・道路の花、植栽 ○暮らし <ul style="list-style-type: none"> ・住民満足度を上げる、ただ「足るを知る」ことも重要な ・行政は市民のために役に立つことに徹する ・情報の共有がとても大事 ・個人情報もあり難しい所もあるがゆるやかに「困っている」「こんな出来たら」など、話し合い、知ることが大事なので拠点が必要 ・地域づくりは人づくり、まず一歩、少しずつがんばる ・地域のことは地域で決める、行政は応援団扱にする ・拠点があればどんなことに不安があっても、どう改善すべきかわかる、そのことを住民自治で突破していく ・少子高齢化は避けられない、「地域拠点」をしっかり整備 ・ゆるやかにつながり不安を取り除いていける、共有化して自分ごとにする ・達成感→充実感が上がり自治にかかわると思う（自分ごと） 	<ul style="list-style-type: none"> ・入ってきにくいお店（業種）への支援、飲食、衣類チェーン店 ・民生委員さんだけでなく自主防災も加わって災害時に命を守る ○安全、安心 <ul style="list-style-type: none"> ・安全面で火災対策 ・築年数の長い建て替えへの補助 ・発電所（火力）、自衛隊施設などの誘致 ・町会を単位に災害対策 ・物価上昇に見合う年金保障 ○自然 <ul style="list-style-type: none"> ・農地転用をしやすい ・利益が出にくい農家への支援 ・大規模農業工場 ○産業 <ul style="list-style-type: none"> ・民泊の集積化（特定地域に集めるとそこに店も作りやすい？） ・観光施設の整備 ・質の良い観光客を選べるほどの魅力向上 ・全国、全世界で注目されるPR ・漁業の活性化、休み対策充実、例えば協業して黒字を組合員の分配する ○新旧 <ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅の活用、民間のリノベーション ・東浦：団地のリノベーションの促進 ・空き家をリノベーションして市が若者世代に安価に売り出す ・光進医療施設、研究機関 ・DXで人手不足対策 ・ハイテク産業施策、施設、研究機関 ○その他 <ul style="list-style-type: none"> ・不安をとるための相互理解、その場づくり ・不安を解消していくことが価値 ・住民と事業者との意見交換と市政へ意見

淡路市都市計画マスタープラン 第2回地域懇談会意見 北淡・一宮地区

テーマ	テーマ1：目指すべきまちの将来像	テーマ2：将来像を実現するための取組
意見	<p>○暮らし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティを大切にしてほしい ・この先20年間子供達が大人になり帰れる淡路市であってほしい ・市民ファーストの考えであってほしい ・幼児～高齢者までみんなが安心して楽しく暮らせるまち ・高齢者が生きていけるまち <p>○安全（交通）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動が楽で安全な町、交通手段、道路 ・災害に強い安全なまち ・鉄道のあるまち ・阪神間のベットタウン ・関西地区、四国地区、瀬戸内のハブ的な位置づけをする ・世界のハブ島、津名にアジアの物流 <p>○観光</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心、安全なまちづくり、市の規則 ・暮らしの安心と観光産業が両立したまちづくり ・将来のまちの姿を自分たちで作れるまちづくり ・まちの開発について一定のコントロール性をもったまちづくり ・観光にたよらないまち ・話し合いが出来る淡路市であってほしい <p>○自然</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1次産業で生きているまち ・夕日を生かしたまちづくり ・朝日、夕日を生かす ・自然や歴史と共存するまち ・美しい景観と緑豊かなまち ・棚田の風景を残す ・西風のないまち <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口を増やしていく 	<p>○暮らし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の活性化、行政（支援とコミュニケーション）、地域（コミュニティ）、住民（活動の活性化、集いの場） ・魅力ある教育、幼、保、小、中、高、専門学校、大学、施設コンテンツ ・医療の充実 ・マーケット欲しい、来年1ヶ所なくなる、買い物出来ない ・住民の無関心、町内会でいろんな情報流してほしい <p>○安全（交通）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早く紀淡海峡に橋をつくる、災害、経済、第2第3の拠点 ・水道のひきこみ、吉野川から、災害に強いまち ・交通網の整備 ・人口の増加、通期圏として交通などの整備、取り組み ・県道を早く広げてほしい、災害、通学のため ・他府県ナンバーの車がほとんどであぶない <p>○観光</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家再利用をする際必ずその地域の長（町内会長等）から説明をして欲しい ・民泊の線引きを淡路市で整えて欲しい ・農漁林体験 ・イサナギの文化を活かす ・ストーリー化、（国生み）神社、（イワクラ）、シーライン日の出 ・ハイキングコース、サイクリングコース通路整備 <p>○自然</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田畑をそうじ、草むしり、植林 ・農業の取り組みをしやすくなって欲しい ・太陽光パネルで景観がくずれる ・今の時代になり砂浜が少なくなっています。「少ない砂浜」をアピールする淡路市と考える。砂浜がいつもきれいでゴミのない砂浜を表に出し切って欲しい ・行政：計画と住民との共有、条例、補助、支援、実行トライアル ・地域住民の活動：地域住民、高齢者、子どもの参画 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共有、市議会の内容など ・3市の役割を分担する ・国の行政をもってくる、バックアップ、人を増やす（文化庁、環境庁、防災庁）

※北淡・一宮地区では班分けをせず意見交換を行った。